令和6年度第2回御殿場市地域公共交通協議会議事概要

令和7年1月20日開催 10時30分～12時00分

御殿場市林業会館第1研修室

※委員14名出席（全17名）

1 開会（全体進行：御殿場市都市整備課長）

2 挨拶（会長 鈴木都市建設部長）

おはようございます。都市建設部部長の鈴木でございます。よろしくお願いたします。本日は、お忙しい中、本会議にご参加いただき大変誠にありがとうございます。昨年7月の会議に引き続き、今回が2回目である。国内では、インバウンド客の増加などにより、人の動きが活発化しており、オーバーツーリズム等も避けないといけない状況である。一方、当市においては、御殿場プレミアムアウトレット等を訪れた観光客数が1,500万人を超えている状況である。市内においても多くの観光客を見かける状況である。

御殿場市においても全国と同じように、人口減少している状況であるが、御殿場駅前には、週末の夜を中心に賑わいを見せている。

そのような背景から、御殿場市では、来年度から、まちづくりの専門部署を設け、「御殿場100人ミライ会議」を主軸とした、まちづくりに取り組んでいく。

公共交通については、インバウンド客の利用が想定される中、既存の公共交通の維持はもちろん、新しい公共交通手段を視野に入れ、まちづくりを検討していきたい。

3 議事

（以下、会長により進行）

報告事項

（1）本市の公共交通の現状……資料1-1～1-2

（説明：事務局）

（質疑等なし）

（2）御殿場市地域公共交通計画更新に係る市民アンケート結果について……資料2

（説明：事務局、委託業者）

（質疑等）

藤井委員（日本大学理工学部交通システム工学科）

：アンケート調査を拝見すると、公共交通会議24自治体目にして初めて見た数字がある。3ページ「困る時の外出目的」で、「趣味・娯楽」が一番高い数値

を示している。千葉県や静岡県周辺の自治体では、基本的に「通院」、「買い物」の2つが特化して高い傾向にある。御殿場市の特徴、もしくは、サンプリングのデータ特性として結果が現れたのか。

タクシーについて、「飲食」を目的とした利用が大半を占めている。通常タクシーは、移動の幹線からドアツードアを考えた際、「飲食」の利用に特化している点をどのように解釈をするのか。

ライドシェアについて、アンケート調査で伺っていることが印象的である。静岡県は公共ライドシェアの枠組みを色々な自治体で検討し、全体の計画の中にライドシェアの検討と記載されている。今回、アンケート調査を実施する際に、「ライドシェア」という言葉を知っているのかどうかを聞いたのか。それとも「日本版ライドシェア」の運用方法を知っているのかどうかを聞いたのか。また、タクシーやバス事業が不安な状態からライドシェアを要望した聞き方か。それとも言葉だけで移動支援が欲しいと要望しているのか。

事務局：1点目の「趣味・娯楽」は、御殿場市の特徴である。御殿場市の位置として、都心や神奈川県に近く、高速バスやJRを使うと距離的に近いところが特徴である。御殿場市は、神奈川方面や新宿などの都心方面に祝日等で出かける人が多くいる。アンケート調査の対象者は、無作為抽出で実施したが、若い方の意見を取り入れたいことから、若い年代のサンプルを多くしたことにより、「趣味・娯楽」が高い傾向を示したと考えている。

2点目のタクシーの利用について、「飲食」は、会長の挨拶にもあるように、夜の賑わいがあることが要因である。シーズンによっては、会合などの飲食から、タクシーを利用する方が多くいること。また若い方のサンプルを踏まえると、夜に御殿場駅周辺に出かける方も多いこと。近隣自治体から御殿場市に夜に集まることから、お酒を飲んでタクシーで帰るケースが考えられる。

3点目のライドシェアについては、「ライドシェア」の言葉を知っているかどうかを聞いた。ライドシェアは、運行形態が細かく分けられていることや難しい表現があることから、ライドシェアの内容までは聞いていない。

藤井委員：他の自治体と傾向が違う感触を得た。地域公共交通計画が動いている中、アンケート調査で、夜の時間帯の利用サービスが低下している傾向が色濃く残っている。どのようなフォローアップをするのか。また若い方の意見を取り入れるとなると、現在、都心は、運転免許証を持たない若い人も増えていることから、御殿場市も都心に近い考え方となる傾向の場合、都心型のような地域公共交通計画を策定するのかどうか、方向性を認知していなかったことから勉強させていただいた。ライドシェアは認知度だけとなると、具体的な必要性や利用意向の数値が怪しいと感じた。

協議事項

(1) 令和7年度御殿場市生活交通確保計画(案)について……資料3-1～資料3-4

(説明:事務局)

資料3-1に基づき、令和7年度御殿場市生活交通確保計画(案)について説明を行った。

(説明:櫻井氏(富士急モビリティ㈱代理))

御殿場市生活交通確保計画(案)について説明を行った。

(質疑等)

藤井委員:資料3-1の2ページ目、1-1や1-2に関連するところとして、「1-1(4)その他」について、御殿場市では、非常に多くの支援事業に取り組まれており、運転免許証を持たない層として、通学補助。観光面では、首都圏へのシャトルバスの運行を行っていることから、アンケート結果の「趣味・娯楽」と照らし合わせると、首都圏へのアクセスを考えられる。高齢者に対し、タクシー補助やバスの補助が行われており、手厚く検討されている。アンケート結果より、タクシー利用目的のフォローアップは今後計画に反映するのか。それとも、検討しようと思ひ、アンケート調査を実施したのか。課題の認識が見えていないことから、事務局の考え方を伺いたい。

事務局:当市は、人口減少対策としてJR御殿場線と小田急との接続が悪い時間帯に、シャトルバスの運行を検討し、現在運行を行っている。これから協議をしていく予定であり、次年度の予算の関係などから、今回の協議会ではお話ができない。今後、進捗があり次第、説明させていただく。人口確保と趣味・娯楽の面から公共交通の利便性の向上を目標に事務局側は準備していきたい。

藤井委員:これから検討されることから、潜在的な需要や具体的な運用時間、方法を是非アンケートの結果から方向性をフォローアップしていただきたい。またバス事業は、運転手確保が難しいことから、どこまでのサービスを提供できるかが課題である。丁寧に検討してほしい。

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

(2) 地域間線系統評価基準に基づく協議について……資料4-1～資料4-5

(説明:仲野氏(静岡県交通基盤部都市局地域交通課代理))

資料4-1に基づき、令和6年度地域幹線系統に係る事業評価について説明を行った。

(説明:櫻井氏(富士急モビリティ㈱代理))

資料4-4に基づき、事業評価について説明を行った。

(説明:事務局)

資料4-5に基づいて、地域間幹線系統に対する市長取組方針報告書について説

明を行った。

(質疑等)

質疑なし

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

(3) 御殿場市地域公共交通計画に係る施策の進捗状況について……資料5

(説明：事務局)

資料5に基づき、御殿場市地域公共交通計画に係る施策の進捗状況について説明を行った。

(質疑等)

田代委員（御殿場市商工会事務局長）：

目標値の設定について、2018年に現状数値を捉え、前向きな取組として目標値を大きな数値に設定された。観光を含めた一般利用は、2018年の数値に戻っていない。現状から80%程度が実際の数値である。前向きな目標値の設定は必要である一方、現状から達成可能な目標値を設定すべきである。否定ではなく、目標値の設定について、2018年に100%に戻るような数値ではなく、現実的な目標値設定にした方がよいのではないか。

事務局：計画の策定時に目標値の設定をさせていただき、コロナ禍前に策定したことから、高い数値となっている。次回の計画更新時には、現状の数値に合わせた目標値を設定させていただく。

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

(4) 小山町一般乗合旅客自動車運送事業の区域運行の廃止について……資料6

(説明：山口氏（小山町役場企画政策課）)

資料6に基づき、小山市一般乗合旅客自動車運送事業の区域運行の廃止について説明を行った。

(質疑等)

藤井委員：内容は理解できた。車両は保有している一方、運転手の状況について、説明がなかった。どのように運行するのか。

山口委員：現在、運行管理、運転者の手配、車両の管理等含め、全ての業務をお願いする企業を探している。今月末にプロポーザルを実施し、事業者からの提案を受け、事業者決める。2月の頭に具体的な内容が決まる。基本的には、事業者に委託する予定。

藤井委員：状況を理解した。ありがとうございます。

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

4 その他

事務局：2点ほどお話をさせていただく。1点目は、御殿場駅富士山口タクシープールのライブカメラについて説明する。昨年、タクシー事業者4社から、タクシー待ちの解消として、カメラを設置し、タクシー待ちを社内間で連絡し対応したいと要望があったことから、試験的にライブカメラを設置することとなった。プライバシー面から、一般に公開するのかどうか、タクシー会社内だけの公開にするのかどうか含めて現在検討中である。

2点目は、御殿場市地域公共交通計画の更新に向けたアンケート調査の実施について説明する。報告事項として、市民アンケートの結果を報告した。本アンケートは、市民1,000人を対象に実施し、今回新たに、交通事業者や宿泊施設、市民代表として、各支所に対してアンケート調査を実施する。アンケート結果から必要に応じてヒアリングを行い、不足していることや要望等を資料として報告し、計画に反映する。

5 閉会